

12月15日正午必着

明石春浦先生書

日色射雲時弄彩
雨絲吹雪不成花

日色射雲時弄彩

雨絲吹雪不成花 (文徵明)

日光が雲にさして時たま美しい色彩を織りなす。雪のあとから雨が降って来て花模様にならない。

明石幸子書

寒月水淺くして川流る

寒月水

浅くして川流る

寒月に水淺くして川流る (山口誓子)

早行 (郭良)
 早行星尚在 數里未天明
 不辨雲林色 空聞流水聲
 月從山上落 河入斗間橫
 漸至重門外 依稀見洛城

早行 (郭良)
 早行星尚お在り 數里未だ天明ならず
 雲林の色を弁せず 空しく流水の声を聞く
 月は山上從り落ち 河は斗間に入りて横たわる
 漸く重門の外に至り 依稀として洛城を見る

(北原 白秋)

山窓無月一燈明 (吳學禮)
 冷硯欲書先自凍
 孤燈何事獨成花 (蘇東坡)

山窓月無く一燈明らかなり。
 冷硯書せんと欲すれば先ず自ら凍り
 孤燈何事ぞ獨り花を成す

月光ささぬ山家の窓に一点の灯火があかるくみえる。
 書きものをしようとしたら、硯の水は早くも凍っていた。燈火は何故かひとり花を結んだように美しい。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

落日五湖遊

煙波處處愁

浮沈千古事

誰與問東流

(薛 瑩)

落日五湖遊
 煙波處處愁
 浮沈千古事
 誰與問東流

森戸春濤書

半紙部規定課題A

12月15日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書

南過洞庭水

隸書

南過洞庭水

明石春浦先生書

草書

南過洞庭水

行草書

南過洞庭水

ここ楚の地の人々が竹枝を歌うのをきけば さすらいのこの身、涙はこぼれて衣をぬらす
 異郷にながく旅寓し 寒い夜、しきりに故郷に帰る夢をみる
 一通の手紙を送ったが、返事も来ないうちに 数知れぬ木々の葉はすっかり飛び散ってしまった
 これより南へ向かい、洞庭湖を過ぎて行けば 故郷のたよりはいつそう稀になるにちがいない

客中

于武陵

楚人歌竹枝

游子淚沾衣

異國久爲客

寒宵頻夢歸

一封書未返

千樹葉皆飛

南過洞庭水

更應消息稀

客中

于武陵

楚人歌竹枝

游子淚沾衣

異國久爲客

寒宵頻夢歸

一封書未返

千樹葉皆飛

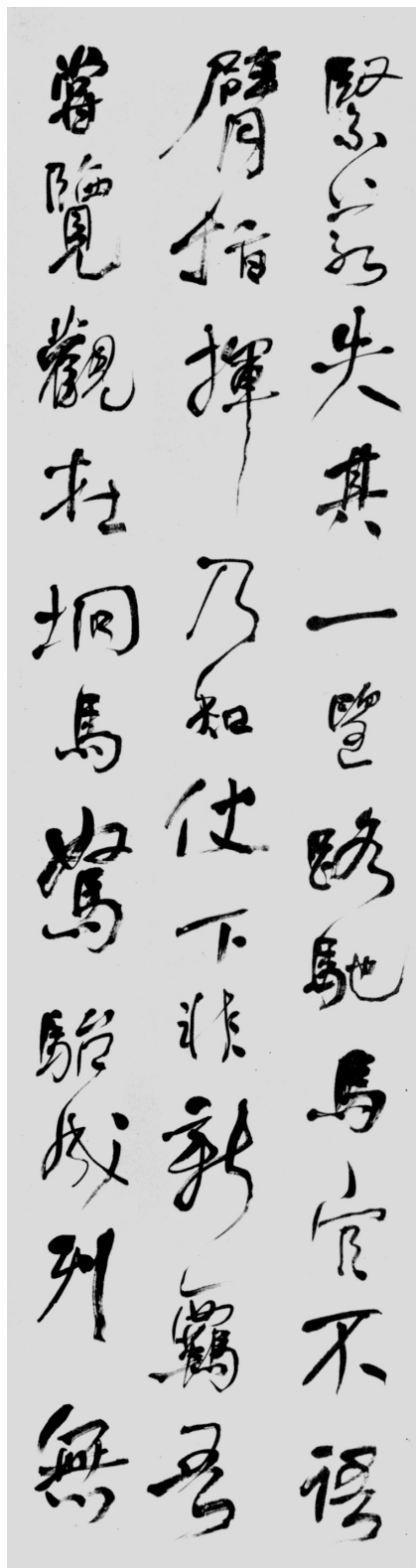
南過洞庭水

更應消息稀

(出典)

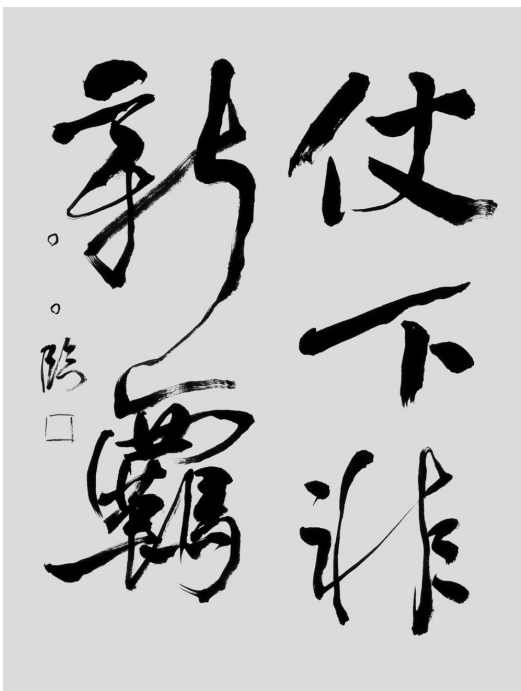
朝日新聞社刊
 「三体詩」下より

12月15日正午必着



(精爽) 緊 若失其一望路馳 馬官不語臂指揮 乃知仗下非新編 吾嘗覽視在坭馬 驚駘成列無 (権奇)
 (精爽) 緊し 其の一を失ない路を望んで馳するが若し 馬官 語らず 臂もて指揮す 乃ち知る 仗下の新編に非ざるを 吾れ嘗て覽視す 坭に在る馬を 驚駘
 列を成して (権奇) 無し

西 墨濤先生臨書



仗下の新編に非ざるを

何紹基・畫馬贊

何紹基は湖南省・道州の人。字は子貞・東州と号し、後に援叟と号した。詩に熱中し、二十歳頃には一家の風を開く。二十四歳の時に北京で包世臣と交わったことが、金石研究の端緒となった。三十七歳で郷試に、翌年進士に合格し翰林院に入った。この時、指導官阮元から北碑唱導説を受け、北碑の研究に打ち込むようになった。書風は父から「横平堅直」を受け、北碑・隸篆・鐘鼎文字まで広く学んだとされるが、根底には顔法があった。包・阮の感化を受け、書法の最後の練磨を漢碑の隸書に賭ける。特に「張遷碑」に力を尽くした。

楊守敬は彼の書について「世間の人は彼の天分がすぐれていることは知っているが、刻苦精勵したということを知らない。彼の書を習うと軽佻になりやすいのは、学ぶ者の心が彼の精神的な深さに及ばないからである。」と述べている。

この畫馬贊は七言古詩一首を四屏に書したものである。見た目のイメージだけで臨書すると、散漫になり易く危険。廻腕直筆に構え、伸びやかで呼吸の長い連筆を心がけたい。

(春廣)

《做書参考》

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

竊失其一望路馳馬官不
 得臂月指揮乃知仗下。

其の一を失ない路を望んで馳するが若し 馬官 語らず 臂もて指揮す 乃ち知る 仗下の（新韉に非ざるを）

不知香積寺教里入雲岸古木無人徑深
 山何處鐘泉聲咽危石日色冷青松
 薄暮空潭曲安禪制毒龍

墨濤先生筆意

不知香積寺 數里入雲峰 古木無人徑 深山何處鐘
 泉聲咽危石 日色冷青松 薄暮空潭曲 安禪制毒龍
 (王維)

12月15日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

りょう
良

かん
寛

中学一年



菅井松雲先生書

かん
寒

つばき
椿

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

さっ
作

か
家

小学五年



横川春川先生書

じょ
除

や
夜

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



て

しな

小学三年

藤田幸春先生書



はく

ちょう

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

つ き 小学一年・幼年



森戸春濤書

お 寺 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

検してから外出する
火の元戸じまりを点

小学五年

この宿題を一時間で
するのは不可能だ

小学六年

教会の鐘の音が朝焼
けの町に鳴りひびく

中学

読書に親しむことは心と
知性の成長につながる

一般(級位)

煙たつ峰の炭やきやどりかせ夕日のおくにましら鳴くなり(加納 諸平)

煙たつ峰の炭やきやどりかせ夕日のおくにましら鳴くなり

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

あ	し
ら	っ
い	か
ま	り
し	て
よ	て
う	を

幼年

サ	白
ン	い
タ	
ク	ひ
ロ	げ
ー	の
ス	

小学一年

な	も
雪	み
が	の
ま	木
い	に
ち	
る	こ

小学二年

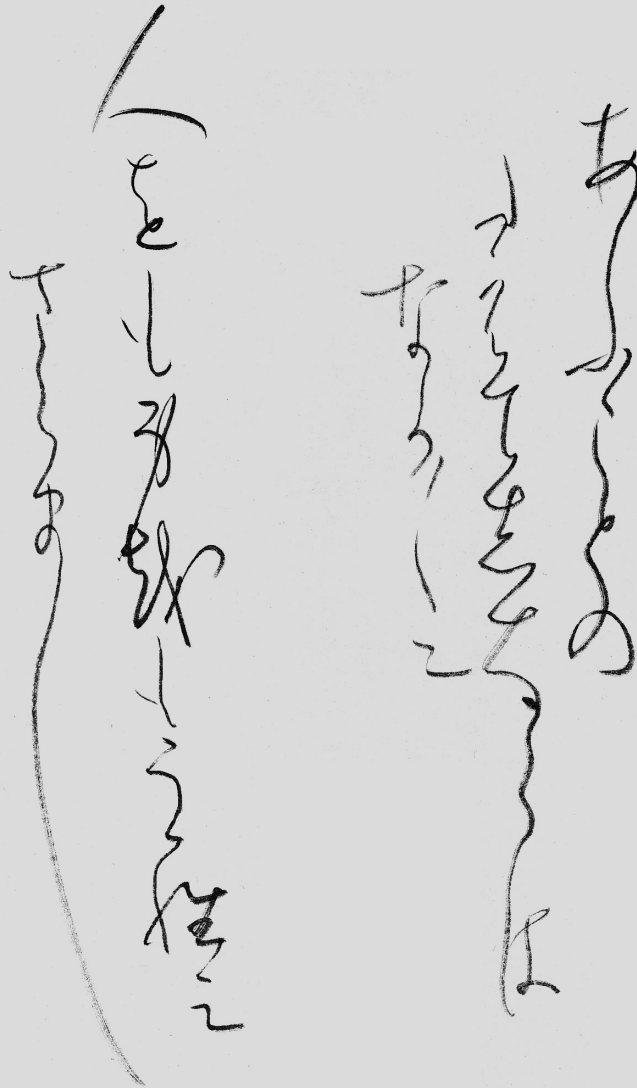
え	テ
合	ス
わ	ト
せ	の
を	後
し	で
た	答

小学三年

ケ	今
ー	年
キ	の
は	ク
手	リ
作	ス
り	マ
で	ス
す	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

あふことの
 多たえてしなくは
 志奈なか
 可なかに
 二 人をも身をも
 越うらみざらまし
 羅三末
 (拾遺集 藤原朝忠)